badri	gleki
catke	lacpu
barda	cmalu
bartu	nenri
cikna	sipna
cilre	ctuca

x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (事)に関して嬉しい / 幸せ / 幸福 / 上機嫌	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (事)について悲しい / 落胆している; x <sub>2</sub> は x <sub>1</sub> を悲し ませる
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (対象本体)・x <sub>3</sub> (対象	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (対象本体)・x <sub>3</sub> (対象
箇所)を引く / 引っ張る	箇所)を押す
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (性質)に関して、x <sub>3</sub>	x <sub>I</sub> は x <sub>2</sub> (性質)に関して、x <sub>3</sub>
(比較対象)の中で小さい	(比較対象)の中で大きい
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> の中(にある); x <sub>1</sub> は内 部 / 内側; x <sub>2</sub> は x <sub>1</sub> を内蔵する	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> の外 / 外部 / 外側
x <sub>1</sub> は寝ている; x <sub>1</sub> は眠る	$x_I$ は目覚めている
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (生徒 / 門下生)に x <sub>3</sub>	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (命題)・x <sub>3</sub> (題目)を
(命題)・x <sub>4</sub> (題目)を x <sub>5</sub> (方法)	x <sub>4</sub> (情報源)から x <sub>5</sub> (方法)に
で教える	よって習う

|

cirko	cpacu
lenku	glare
verba	makcu
mamta	patfu
nanmu	ninmu
nixli	nanla

x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (対象)を x <sub>3</sub> (起源)か ら入手する	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (物 / 者)を x <sub>3</sub> (所)で 失う; x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (性質)を x <sub>3</sub> (状 況)で失う
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (基準)において熱い /	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (基準)において冷たい
暖かい / 温い	/ 涼しい
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (性質)に関して成熟し	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (年齢)の、x <sub>3</sub> (観点)で
ている; x <sub>1</sub> は成人 / おとな	の子供
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> の父親	$x_{I}$ は $x_{2}$ の母親; $x_{I}$ は母性的
x <sub>1</sub> は女(の人)	<i>x<sub>1</sub></i> は男(の人)
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (年齢)・x <sub>3</sub> (基準)の	x <sub>I</sub> は x <sub>2</sub> (年齢)・x <sub>3</sub> (基準)の
少年 / 未成熟の男	少女 / 未成熟の女

!

nakni	fetsi
fanmo	krasi
stizu	jubme
linto	tilju
viska	tirna
pinxe	citka

x1 は x2 (生物種)の、x3 (体現 x1 は x2 (生物種)の、x3 (体現 性質)に基づく女性 / 雌; x1 は 性質)に基づく男性 / 雄; x1 は 女性的 男性的 x1 (所 / 事)はx2 (物 / 者 / x1 は x2 (物 / 過程)の終わり 事)の起源/根源/発祥地 x1 は x2 (素材)・x3 (脚 / 柱 / x1 は椅子 / 腰掛 / ベンチ 台座)の机 / テーブル / 台 x1 は x2 (基準)において軽い / x1 は x2 (基準/観点)におい て重い 軽量 x1 は x2 (対象音声)を x3 (環 x1 は x2 を x3 (状態条件)のも 境音声)にたいして聞く; x2 が と視覚する; x1 には x2 が見え

 $x_1$  は  $x_2$  (対象音声)を  $x_3$  (環境音声)にたいして聞く;  $x_2$  が と視覚する;  $x_1$  には  $x_2$  が見え  $x_1$  に聞こえる;  $x_1$  には聴覚が る;  $x_1$  には視覚能力 / 光学的 ある;  $x_2$  は可聴音 感知能力がある

cliva	penmi
prami	xebni
clani	tordu
solri	lunra
jarki	ganra
dunli	frica

x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> に x <sub>3</sub> (所)で会う	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> から x <sub>3</sub> (経路)によって 離れる / 発つ / 別れる / 去る; x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> を残す
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (物 / 者 / 事)を憎む; x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> にたいする怨恨を抱い ている; x <sub>2</sub> は憎らしい	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> を愛する / にたいして 愛情が湧く
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (方向)・x <sub>3</sub> (尺度)に	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (次元 / 方向)・x <sub>3</sub> (照
関して短い	合枠)において長い
x <sub>1</sub> は地球の月; x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> の主 要衛星	x <sub>I</sub> は x <sub>2</sub> (惑星)の太陽 / 恒星
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (次元)・x <sub>3</sub> (基準)にお	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (次元)・x <sub>3</sub> (基準)にお
いて広い / 幅がある / ワイド	いて狭い
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> と、x <sub>3</sub> (性質)に関して	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> と x <sub>3</sub> (性質)に関して
違う / 異なる	同等

jmive	morsi
xamgu	xlali
menli	xadni
ruble	tsali
detri	tcika
betfu	birka

x <sub>1</sub> は死んでいる / 生が無い	x <sub>I</sub> は x <sub>2</sub> (観点 / 基準)におい て生きている; x <sub>I</sub> は生物 / 生 体 / 有機体
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> にとって、x <sub>3</sub> (基準)で 悪い / 粗末	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> にとって、x <sub>3</sub> (基準)で 良い / 好ましい
$x_I$ は $x_2$ の肉体; $x_I$ は身体的	x <sub>I</sub> は x <sub>2</sub> (本体)の精神 / 心 / 悟性; x <sub>I</sub> は心的
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (性質)に関して x <sub>3</sub> (観 点)で強い	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (性質)・x <sub>3</sub> (基準)にお いて弱い / ひ弱 / 虚弱 / 微弱 / 華奢
x <sub>I</sub> (時 / 分 / 秒)は x <sub>2</sub> (事)の、 x <sub>3</sub> (日)・x <sub>4</sub> (所)における時刻	x <sub>1</sub> (数)は x <sub>2</sub> (事)・x <sub>3</sub> (所)・x <sub>4</sub> (暦)の日付
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (本体)の腕	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (本体)の腹 / 胴部

!

cutne	degji
flira	jamfu
kanla	kerfa
kerlo	moklu
nazbi	stedu
tuple	xance

x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (本体)・x <sub>3</sub> (箇所 / 肢)の指	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (本体)の胸 / 胸腔
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (本体)の足	x <sub>I</sub> は x <sub>2</sub> (本体)の顔; x <sub>I</sub> は表 情的
x <sub>I</sub> は x <sub>2</sub> (本体)・x <sub>3</sub> (箇所)の 毛 / 髪	x <sub>I</sub> は x <sub>2</sub> (本体)の目 / 眼 / 視 覚器官; x <sub>I</sub> は視覚者
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (本体)の口	x <sub>I</sub> は x <sub>2</sub> (本体)の耳 / 聴覚器 官; x <sub>I</sub> は聴覚者
x <sub>I</sub> は x <sub>2</sub> (本体)の頭 / 頭部	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (生体)・x <sub>3</sub> (鼻腔)の 鼻
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (本体)の手	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (本体)の脚

bolci	cukla
linji	mokca
plita	blabi
blanu	crino
grusi	pelxu
skari	xekri

x <sub>1</sub> は(二次元的に)円い; x <sub>1</sub> は 円 / ディスク	x <sub>I</sub> は x <sub>2</sub> (素材)の球体 / ボー ル; x <sub>I</sub> は丸い
x <sub>I</sub> は x <sub>2</sub> (時間 / 空間)におけ る点; x <sub>I</sub> は0次元	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (点集合)の間の線
x <sub>1</sub> は白色	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (点の集合)による二次 元の面(平面)
x <sub>1</sub> は緑色	x <sub>1</sub> は青色
x <sub>I</sub> は黄色	x <sub>1</sub> は灰色 / グレー
x <sub>I</sub> は黒色	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (色相)の、x <sub>3</sub> (視覚 者)にたいする、x <sub>4</sub> (条件)にお ける色

xunre	grute
spati	srasu
tricu	xrula
bitmu	drudi
loldi	dertu
tsani	tumla

x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (種類)の果実 / フ ルーツ	x <sub>I</sub> は赤色 / クリムゾン
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (種類)の草 / 草原 / 原っぱ	x <sub>I</sub> は x <sub>2</sub> (種類)の植物(草木 / 葉 / 花); x <sub>I</sub> は植物性
x <sub>I</sub> は x <sub>2</sub> (種類)の花	x <sub>I</sub> は x <sub>2</sub> (種類)の木 / 樹木 / 立ち木
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (本体)の屋根 / 天井 / 屋上 / 蓋	x <sub>I</sub> は x <sub>2</sub> ・x <sub>3</sub> を隔てる、x <sub>4</sub> (構 造体)の壁 / 垣 / 塀 / フェン ス
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (所 / 起源)・x <sub>3</sub> (成 分)の土壌 / つち	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> の床 / 底面
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (位置)における陸 / 大地の広がり	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (所)の空 / 天空

ļ

xamsi	berti
snanu	stici
stuna	cnita
crane	gapru
pritu	trixe
zunle	cerni

x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> にたいして x <sub>3</sub> (照合	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (領域 / 惑星)・x <sub>3</sub> (液
枠)で北方 / 北側	体成分)の海 / 海洋
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> に対して x <sub>3</sub> (照合枠)	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> に対して x <sub>3</sub> (照合枠)
における西方 / 西側	における南方 / 南側
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> に対して x <sub>3</sub> (照合枠)	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> に対して x <sub>3</sub> (照合枠)
における下方 / 下側	における東方 / 東側
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> に対して x <sub>3</sub> (照合枠)	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (比較対象)・x <sub>3</sub> (照合
における上方 / 上側	枠)の前方 / 前側
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> に対して x <sub>3</sub> (照合枠) における後ろ / 後方 / 後側 / 裏側 / 背後 / リア	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> に対して x <sub>3</sub> (照合枠) における右方 / 右側
$x_1$ は $x_2$ (日)・ $x_3$ (所)の朝	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> に対して x <sub>3</sub> (照合枠) における左方 / 左側

donri	nicte
vanci	crisa
critu	dunra
vensa	sanli
vreta	zutse
binxo	cmene

x1 は x2 (日)・x3 (所)の昼間 / x1 は x2 (日)の x3 (場所)にお 日中; x1 は昼行性 ける夜 x1 は x2 (日)・x3 (所)の夕方 / x1 は x2 (年)・x3 (所)の夏季 夕暮れ/晩 x1 は x2 (年)・x3 (所)の冬季 x1 は x2 (年)・x3 (所)の秋季  $x_1$  は  $x_2$  (所)に  $x_3$  (脚 / 支え) x1 は x2 (年)・x3 (所)の春季 で立つ x1 は x2 に寄り掛かる / もたれ x1 は x2 (表面)に座る / 着席 する る/横たわる x1 (文字列)は x2 の、x3 (者)に x1 は x2 に x3 (条件)の下で成 よる名称; x3 は x2 を x1 と呼 る / 変身する

ぶ; x2 は x1 と呼ばれている

dasni	djacu
djuno	dunda
fagri	ganse
gunma	jbena
kakne	kelci
klama	kufra

x <sub>I</sub> は水; x <sub>I</sub> は水溶性 / 含水の	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> を x <sub>3</sub> (着用様式)で着 ている / 履いている / 被って いる / 身に付けている
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> を x <sub>3</sub> (者)に与える / 贈る / 授ける	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (命題)・x <sub>3</sub> (題目)を x <sub>4</sub> (認識体系)で知る
x <sub>1</sub> (者)は x <sub>2</sub> (性質)を x <sub>3</sub> (手 段)によって、x <sub>4</sub> (環境条件)の もと感知 / 感得する / 感じ取 る; x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> にたいして敏感 / センシティヴ	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (燃料)・x <sub>3</sub> (酸化料)に よる火 / 炎
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (産主)による x <sub>3</sub> (日 時)・x <sub>4</sub> (所)の生まれである; x <sub>2</sub> は x <sub>1</sub> の産みの親	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (要素)からなる群 / 団
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (道具 / 方法)で遊ぶ	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (事)が x <sub>3</sub> (条件)にお いてできる; x <sub>1</sub> は有能

 $x_1$  は  $x_2$  (環境性質)について 快適 / 心地良さを感じる  $x_1$  は  $x_2$  (終点)に  $x_3$  (起点)から  $x_4$  (経路)を  $x_5$  (方法)で行く / 来る

lamji	manku
melbi	minji
mutce	namcu
nelci	pendo
pilno	remna
sisti	stali

x <sub>I</sub> は暗い / 闇	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> に、x <sub>3</sub> (並列特性)・x <sub>4</sub> (並列方向)で隣接する / 隣り 合う; x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> の隣
x1 は x2 (機能 / 用途)の機械	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (審美者)にとって x <sub>3</sub> (性質)・x <sub>4</sub> (審美基準)におい て美しい / 綺麗 / 麗しい / ハ ンサム / かわいい
x <sub>I</sub> は数 / 量 / 値	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (性質)に関して、x <sub>3</sub> (極性)に対して凄い; x <sub>1</sub> はとて も x <sub>2</sub>
x <sub>1</sub> (者)は x <sub>2</sub> (者)の友人; x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> にたいして友好的	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (物 / 事)を好む / 好 き / 気に入っている
x <sub>I</sub> は生物学的ヒト / ホモサピ エンス	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (道具 / 機械 / 者)を x <sub>3</sub> (目的)のために使う / 用い る
x <sub>I</sub> は x <sub>2</sub> (場 / 性質 / 状態)に 留まる	x <sub>I</sub> (者)は x <sub>2</sub> (動作 / 過程 / 状 態)をやめる / 中止 / 終了する

tavla	dizlo
galtu	balvi
purci	clira
lerci	kalci
pinca	bajra
cadzu	srera

x1 (者)は x2 (者)に x3 (題目) x1 は x2 (照合枠)・x3 (基点) について x4 (言語)で話す / 語 において低い る x1 は x2 よりも未来 / 後発; x1 x1 は x2 (照合枠)・x3 (基点)に は後者; x2 は前者 おいて高い x1 は x2 (時点)よりも以前 / 過 x1 (事)は x2 (照合枠)において 去; x1 は先人 早い x1 (事)は x2 (基準)において時 x1 は x2 (生体)の糞 / 排泄物 期的 / 時刻的に遅い  $x_1$  は  $x_2$  (表面)を  $x_3$  (肢)・ $x_4$ x1 は x2 (生体)の尿 (調子)で走る

## x1 は x2 (表面)を x3 (肢)・x4 (調子)で走る x1 は x2 (生体)の尿 x1 は x2 (事)に関して、x3 (条 (技)で歩く

件)· x4 (基準)で誤る / 間違う

drani	bersa
tixnu	ciska
tcidu	rigni
pluka	zenba
jdika	zmadu
mleca	jalge

x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (親)の息子	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (性質)に関して x <sub>3</sub> (状況)のとき x <sub>4</sub> (基準)において正しい / 正確 / 適宜
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (文字列)を x <sub>3</sub> (媒体) に x <sub>4</sub> (道具)で書く	x <sub>I</sub> は x <sub>2</sub> (親)の娘
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (者)にとって x <sub>3</sub> (条件) において不快 / 不愉快 / いま いましい / 吐き気をもよおさせ る; x <sub>2</sub> は x <sub>1</sub> に愛想を尽かす / 嫌悪感を覚える	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (文字列)を x <sub>3</sub> (表面 / 書物)から読む
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (性質 / 数量)に関し て x <sub>3</sub> (度合)だけ増える	x <sub>1</sub> (事)は x <sub>2</sub> にとって、x <sub>3</sub> (条 件)のもと快い / 心地良い
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> よりも、x <sub>3</sub> (性質 / 数 量)の点で、x <sub>4</sub> (度合)ほど優る / x <sub>3</sub> が x <sub>1</sub> には x <sub>2</sub> よりももっと ある	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (性質)に関して x <sub>3</sub> (数 量)ほど減る
x <sub>1</sub> (事)は x <sub>2</sub> (事)の結果 / 結 末; x <sub>2</sub> は x <sub>1</sub> に終結する	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> よりも、x <sub>3</sub> (性質)に関 して x <sub>4</sub> (数量)ほど劣る / 少な い

cfari	bangu
bridi	cmavo
gerna	gismu
jufra	lujvo
rafsi	sumti
tanru	valsi

$x_1$ は $x_2$ (使用者)が $x_3$ (概念 /命題 /文字列)を表すのに用いる言語; $x_2$ は $x_1$ 語を話す	x <sub>1</sub> (事 / 状態)は始まる / 開始 する
x <sub>I</sub> (文字列)は x <sub>2</sub> (品詞)・x <sub>3</sub> (意味 / 機能)・x <sub>4</sub> (言語)の機 能語	x <sub>1</sub> (du'u)は x <sub>2</sub> (関係)を x <sub>3</sub> (項 の列 / 集合)について賓述を表 す関係性 / 命題
x <sub>1</sub> (文字列)は x <sub>2</sub> (意味関係)を x <sub>3</sub> (項)について表す、x <sub>4</sub> (形態 素)からなる語根	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (言語)の x <sub>3</sub> (性質)に 関する文法
x <sub>1</sub> (文字列)は x <sub>2</sub> (意味)・x <sub>3</sub> (項)を有する、x <sub>4</sub> (形態素)から 作られた合成語・複合語	x <sub>1</sub> (文字列)は x <sub>2</sub> (題目)の、x <sub>3</sub> (言語)における文
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (述語 / 関数)の場所 x <sub>3</sub> (種類 / 番号)を占める項	x <sub>1</sub> (文字列)は x <sub>2</sub> (語)の x <sub>3</sub> (部位 / 性質)に由来する、x <sub>4</sub> (言語)の形態素 / 語基 / 語幹 / 接辞
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (意味 / 効力)を有す る、x <sub>3</sub> (言語)の言葉 / 語彙	x <sub>1</sub> は、x <sub>2</sub> が x <sub>3</sub> を修飾し、x <sub>4</sub> を 意味する、使用法 / 例文 x <sub>5</sub> に おける複合語

gapci	litki
sligu	baktu
botpi	kabri
lante	palta
patxu	tanxe
vasru	bloti

x1 は x2 (成分 / 物質)の、x3 x1 は x2 (成分)・x3 (条件)の (条件)における液体 / 流動体 気体 / ガス x1 は x2 (内容)・x3 (素材)の x1 は x2 (成分 / 物質)の x3 バケツ / 桶 / 槽 (条件)における固体 *x*<sub>1</sub> は *x*<sub>2</sub> (内容)・*x*<sub>3</sub> (素材)の x1 は x2 (内容)・x3 (素材)・x4 コップ / カップ / タンブラー / (栓/蓋)の瓶/ボトル/水筒 マグ / 茶碗 / 杯  $x_1$  は  $x_2$  (生鮮物)を詰めた、 $x_3$ x1 は x2 (素材)の皿 (素材)の缶容器 x1 は x2 (内容)・x3 (素材)の x1 は x2 (内容)・x3 (素材)の 壷 / 鉢 / かめ / やかん / ポッ 箱 / カートン

x<sub>1</sub> は x<sub>2</sub> (客 / 荷)・x<sub>3</sub> (原動 力)の船 / ボート は x<sub>2</sub> の容器

karce	marce
trene	vinji
briju	ckule
dinju	gusta
zarci	zdani
stuzi	zvati

x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> を x <sub>3</sub> (媒体)・x <sub>4</sub> (原 動力)で運ぶ輸送機関 / 乗物	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (客 / 荷)・x <sub>3</sub> (原動 力)の車
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (荷 / 乗客)・x <sub>3</sub> (原動力)の飛行機 / 航空機 / 飛行船	$x_1$ は車両 $x_2$ (群れ)・線路網 / 軌道 $x_3$ ・原動力 $x_4$ の列車 / 鉄道 / 電車 / 汽車 / 地下鉄
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (所)で x <sub>3</sub> (科目)を x <sub>4</sub> (聴衆)に教える、x <sub>5</sub> (者)によって営まれている教育機関 / 学習施設	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (従業員)・x <sub>3</sub> (所)の 職場 / 事務所 / 営業所 / 局
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (飲み物 / 食べ物)を x <sub>3</sub> (客)に提供する飲食店 / レ ストラン / カフェテリア	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (目的)のための建造 物
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> の(ための)巣 / 家 / ねぐら / アジト	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (取引品)・x <sub>3</sub> (営者) の店 / 市場

 
 x<sub>I</sub> (物 / 事)が x<sub>2</sub> (事 / 所)に
 x<sub>I</sub> は x<sub>2</sub> (物 / 事)の本質的 / 恒久的な場所 / 現場

gasnu	zukte
krinu	mukti
nibli	rinka
dargu	klaji
lalxu	rirxe
cidja	nanba

x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (行動内容)を x <sub>3</sub> (目 的 / 目標)のために行為 / 実 行する	x <sub>1</sub> (者)は x <sub>2</sub> (事)をする
$x_{I}$ (事)は $x_{2}$ (事)を $x_{3}$ (者)に 動機する; $x_{3}$ は $x_{I}$ に鼓舞され て $x_{2}$ をする	x <sub>1</sub> (事)は x <sub>2</sub> (事)を許容する理 由
x <sub>1</sub> (事)は x <sub>2</sub> (事)を x <sub>3</sub> (条件) において引き起こす	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (事)を x <sub>3</sub> (法則 / 論 理 / 体系)において余儀なく含 意する / もたらす; x <sub>1</sub> によって x <sub>2</sub> は絶対 / まちがいなく起こ る
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (所)における、x <sub>3</sub> につ ながる街路 / 通り / 回廊	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (終点)・x <sub>3</sub> (起点)・x <sub>4</sub> (経路)の道路 / 車道
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (土地)の x <sub>3</sub> (流域)が x <sub>4</sub> (河口)に流れる河川	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (所)の湖 / 池 / 水た まり
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (種類 / 原料 / 穀物) のパン	$x_{I}$ は $x_{2}$ (摂食者)のための食 べ物 / 食糧 / 餌; $x_{I}$ は $x_{2}$ に 栄養価を与える; $x_{I}$ は食用

sanmi	catlu
zgana	cikre
cortu	cukta
cusku	cuxna
danlu	denpa
dirba	djica

x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> を見る / 見つめる /	x <sub>I</sub> (群)は x <sub>2</sub> (品 / コース)の食
見入る	事 / ごはん
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> を x <sub>3</sub> (使用)のために	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (対象)を x <sub>3</sub> (方法)・
修理 / 修復 / 修繕する / 直	x <sub>4</sub> (条件)で観察 / 観賞 / 鑑
す	賞する
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (内容)・x <sub>3</sub> (著者)・x <sub>4</sub>	x <sub>1</sub> (者)は x <sub>2</sub> (箇所)に痛みを感
(読者)・x <sub>5</sub> (媒体)の本 / 文献	じる; x <sub>2</sub> が痛い
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (選択肢)を x <sub>3</sub> (集合)	$x_{I}$ (者)は $x_{2}$ (内容)を $x_{3}$ (聴衆)に $x_{4}$ (媒体)で表す / 言う /
から選ぶ	表現する
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (事)を x <sub>3</sub> (状態)なが ら待つ、x <sub>4</sub> (事)の開始以前 / 再開以前に	x <sub>I</sub> は x <sub>2</sub> (種類)の動物
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (事)を x <sub>3</sub> (目的)のために欲する / 求める; x <sub>1</sub> は x <sub>3</sub> (目的)のために x <sub>2</sub> (事)という欲求を満たしたい	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (者)にとって貴重 / あ いらしい / 大切

gugde	jgari
kumfa	lebna
lojbo	lumci
muvdu	pelji
pensi	pixra
pleji	prenu

x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (対象本体)・x <sub>4</sub> (対象 箇所)を x <sub>3</sub> ( x <sub>1</sub> の部分)で掴む / 握る	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (要素 / 成員)・x <sub>3</sub> (領 域)の国
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (物 / 性質)を x <sub>3</sub> (者) から取る / 得る / 奪う / 盗む / 取り除く / 没収 / 着服する	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (構造)内の x <sub>3</sub> (壁 / 天井 / 床)で仕切られた部屋 / 室
$x_{I}$ は $x_{2}$ の汚れ $x_{3}$ を洗浄剤 / 用具 $x_{4}$ で洗う	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (性質面)に関してロジ バン系
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (資源)の紙	x <sub>I</sub> (物)は x <sub>2</sub> (終点)に x <sub>3</sub> (始 点)から x <sub>4</sub> (経路)にわたって動 く; x <sub>I</sub> は動的
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (主題)・x <sub>3</sub> (作者)・x <sub>4</sub> (媒体)の絵 / 画 / 写真 / 造 形; x <sub>3</sub> は x <sub>2</sub> を描いて x <sub>1</sub> を創る	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (概念)について思慮する / 考慮する / 熟考する / 思 いを巡らす; x <sub>2</sub> は考え深い
x <sub>I</sub> は(心理学上の)人; x <sub>I</sub> は人 格を有する	$x_{I}$ は $x_{2}$ (金 / 報酬)を $x_{3}$ (者) に $x_{4}$ (対価 / 商品 / サービス) のために支払う

rirni	skapi
troci	vecnu
vitke	zgike
zasti	xanri
bilma	kanro
cilmo	sudga

x1 は x2 の育ての親 / 保護者 x1 は x2 (起源)の(特に動物性 / 保育者 / 養育者; x1 は x2 を の)革 / 皮膚 / 肌 育てる x1 は x2 (事 / 状態 / 性質)を x1 (売り手)は x2 (品物やサー x3 (手段 / 方法)で達成 / 獲 ビス)をx3 (買い手)にx4の額 得しようと努める / 努力する; / 費用 / 出費で売る x1はx2をやってみる x1 は x2 (者)・x3 (所 / 事)の x1 は x2 に演奏 / 制作される 客; x<sub>1</sub> は x<sub>2</sub>・x<sub>3</sub> を訪れる 音楽 x1 は x2 (者)による想像; x1 は x1 は x2 (観点): x3 (認識体 架空 / 想像上のもの / 非現実 系)において実在する

darno	jibni
fliba	snada
citno	laldo
ckiku	stela
ganlo	kalri
cnino	slabu

x1 は x2 から x3 (性質)に関し x1 は x2 に、x3 (性質)に関して 近い / 近似 て遠い x1 (者)は x2 (成果)を x3 (努力 x1 は x2 (事)に失敗する; x1 は / 試み)によって達成する / 成 xフを怠る 功させる x1 は x2 (基準)において古い / x1 は x2 (基準)において若い 高齢 / 年寄り x1 は x2 を x3 (仕組)で封じる x1 は x2 (錠)・x3 (特性)の鍵 錠 / ロック x1 は x2 (到達されないもの / x1 は x2 (通り抜けた先)へ x3 所)にたいして x3 (通過を妨げ られているもの)にとって閉まっ (通り抜けるもの)にとって開い ている; x1 は x3 が x2 へ達す ている ることを妨げる x1 は x2 (者)にとって x3 (性質) x1 は x2 (者)にとって、x3 (性 の点で x4 (観点)から判断して 質)・x4 (基準)に関して新しい なじみがある

pluja	sampu
kunti	culno
xendo	kusru
cacra	djedi
jeftu	masti
mentu	nanca

x1 は x2 (性質)に関して簡単 / x1 は x2 (性質)が x3 (基準)に 単純 おいて複雑 / 煩雑 x1 は x2 で充溢 / 充満してい x1 は x2 (内容)が無い; x1 は 空っぽ る x1 (者)は x2 にたいして酷い / x1 (者)は x2 にたいして x3 (行 意地悪 / 不親切 為)で親切 / 優しい  $x_1$  の継続時間は  $x_2$  (数)時間、 x1 は x2 (数)・x3 (基準)の満 x3 (基準)で; x1 は x2 (数)時間 かかる x1 は x2 (数)・x3 (暦)の月 x1 は x2 (数)・x3 (基準)の週  $x_1$  は  $x_2$  (数(初期設定では1  $x_1$  は  $x_2$  (数)分の時間間隔、 $x_3$ 年))年間、x3 (基準)で継続す (基準)において る; x1 は年次

snidu	temci
cisma	ckasu
cmila	cpina
kurki	slari
titla	finti
zbasu	terpa

x1 は x2 (時点)から x3 (時点)  $x_1$  は  $x_2$  (数量)の、 $x_3$  (基準)に までの間隔 / 経過 / 時間 おける秒 x1 は x2 (者)を x3 (事 / 性質) について x₄ (行為)で嘲る / 笑 x1 はほほえむ / にやつく いものにする / ばかにする / ひやかす x1 は x2 (味覚者)にとってから x1 は笑う / 笑い声をあげる い/スパイシー x1 は x2 (者)にたいして苦い / x1 は x2 (者)にとってすっぱい ビター x1 は x2 を x3 (目的 / 機能)の ために x4 (既存要素)から創る x1 は x2 にとって甘い / 発明する / 著する; x1 は創 作的 x1 は x2 を恐れる / 怖がる / x1 は x2 を x3 (素材)から造る / に怯える; x2 は x1 をぎょっとさ 作る / 工作する せる / 脅す

xanka	cinri
trina	xajmi
zdile	benji
bevri	mrilu
cpedu	pikci
cmima	girzu

x1 (事)は x2 の関心を惹く; x2 x1 は x2 (事)について緊張 / は x1 に関心がある 心配する; x1 は x2 が不安 x1 は x2 (観察者)にとって x3 x1 は x2 を x3 (性質)で誘惑す (性質)の点で滑稽 / おどけて る; x1 は x2 にとつて魅力的 いる  $x_1$  は  $x_2$  を  $x_3$  (受け手)に  $x_4$  $x_1$  (事)は  $x_2$  (観点)にとって  $x_3$ (起源 / 送信元)から x5 (方法 (性質)についておもしろい / 愉 しい; x2 は x1 を楽しむ / 媒体)によって送る / 届ける x1 は x2 (郵便物 / 手紙 / E x<sub>1</sub> は x<sub>2</sub> (荷)を x<sub>3</sub> (終点)に x<sub>4</sub> メール)を x3 (終点)に x4 (始 (始点)から x5 (道筋)を通って 点)から x5 (ネットワーク / シス 運ぶ テム)によって送達する

x1 は x2 (事)を x3 (者)に x4

x, は x, (者)に x, (事 / 物)を

請う / せがむ / 懇願する / 嘆

lanzu	jorne
lasna	cenba
galfi	grake
mitre	xampo
darxi	daspo
gunta	janli

x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (対象本体)と、x <sub>3</sub> (対 象箇所)において結合 / 接続し ている; x <sub>1</sub> と x <sub>2</sub> は結束してい る	x <sub>I</sub> (群)は x <sub>2</sub> (成員)の、x <sub>3</sub> (基 準)において結ばれている家族 / 部族
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (性質)に関して x <sub>3</sub> (数 量 / 度合)ほど x <sub>4</sub> (環境条件) において変化 / 変質 / 変身す る / 変わる	x <sub>1</sub> (者)は x <sub>2</sub> を x <sub>3</sub> に x <sub>4</sub> (留め 具)で留める / つなげる / くっ つける / 縛る
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (数)・x <sub>3</sub> (基準)のグラ	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> を x <sub>3</sub> に改変する / 変
ム	える
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (数)・x <sub>3</sub> (基準)のアン ペア	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (数量)・x <sub>3</sub> (方向)・x <sub>4</sub> (基準)のメートル; x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> メー トル
x <sub>I</sub> (事)は x <sub>2</sub> を破壊する / 破	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (対象本体)・x <sub>3</sub> (対象
滅させる / 倒す; x <sub>I</sub> は破壊的	箇所)を x <sub>4</sub> で打つ / 叩く
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> に衝突 / 激突する /	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> を x <sub>3</sub> (目的)のために
ぶつかる	攻撃 / 侵攻する

porpi	xrani
curmi	fraxu
cpana	pencu
punji	sefta
banro	cabna
cafne	canci

x <sub>1</sub> (事)は x <sub>2</sub> (対象)に、x <sub>3</sub> (性質)に関して x <sub>4</sub> (損傷 / ダメージ)を与える; x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> を傷つける / 傷める / 損害する	x <sub>I</sub> は砕けて / 壊れて x <sub>2</sub> (破 片)になる
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> を x <sub>3</sub> (事)について許	x <sub>I</sub> (者)は x <sub>2</sub> (事)を x <sub>3</sub> (条件)に
す / 容赦する	おいて許容 / 許可する
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (対象本体)・x <sub>3</sub> (対象	x <sub>I</sub> は x <sub>2</sub> (表面)の上に(置いて
箇所)を x <sub>4</sub> で触る	/ 立って)在る、x <sub>3</sub> (観点)で
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (もの)・x <sub>3</sub> (側)・x <sub>4</sub>	$x_I$ は $x_2$ を $x_3$ (所)に置く / 設
(境)の表面	置する
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> と同時; x <sub>1</sub> は現在 /	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (結果)に x <sub>3</sub> (始原)か
今	ら育つ / 育成する / 成長する
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (所 / 視界)から消える	x <sub>1</sub> (事)は x <sub>2</sub> (基準)において頻 繁 / しょっちゅう / 頻発する / よくある

!

ciblu	citsi
claxu	cmana
facki	farna
finpe	grana
jatna	jdini
jinsa	junla

x1 は x2 (性質 / 周期特性)・ x1 は x2 (生体)の血 / 血液 x3 (年)の季節 x1はx2から突き出ている山 x1 は x2 を欠く; x1 は x2 無し x1 は x2 (物 / 事)・x3 (照合 x<sub>1</sub> は x<sub>2</sub> (命題)を x<sub>3</sub> (題目)に 枠)の向き / 方向 / 方角; x3 ついて発見する; x1 は x3 (物) から観て x2 は x1 のほうにある を見つける / 探し当てる x1 は x2 (素材)の杖 / さお / x1 は x2 (種類)の魚 ステッキ / ロッド x1 は x2 (活動領域 / 権限範 *x*<sub>1</sub> は *x*<sub>2</sub> (発行源)のお金; *x*<sub>1</sub> 疇)における指揮者 / 指導者 / は金融 首領 / 長 / リーダー / キャプ x1 は x2 (時間単位)を x3 (精 x1 は x2 (汚れ)を x3 (観点)に 度)・x4 (方法)で計測する時計 おいて持っていない; x1 は汚れ / 計時器具 ていない / 清らか

kampu	kansa
kecti	klaku
lakne	limna
liste	misno
nitcu	pacna
ponse	ranji

x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> に、x <sub>3</sub> (事)において伴	x <sub>I</sub> (性質)は x <sub>2</sub> (集合)の間で普
う / 付き添う; x <sub>1</sub> と x <sub>2</sub> は一緒	遍 / 一般的; x <sub>I</sub> は普通
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (涙)・x <sub>3</sub> (理由)で泣く	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> を x <sub>3</sub> (事)について哀 れむ / 慈しむ / かわいそうだと 思う; x <sub>1</sub> は慈悲的
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (液体)中を泳ぐ / 水	x <sub>I</sub> (事)は x <sub>2</sub> (条件)でありうる
泳する	/ 起こりうる / 蓋然的
x <sub>1</sub> (人 / 物 / 事)は x <sub>2</sub> (群)の 間で有名	$x_1$ は $x_2$ (集合)を $x_3$ (序列)で $x_4$ (媒体)に表した目録 / カタログ / リスト / 一覧 / 名簿 / ログ
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (事)を x <sub>3</sub> (見込み /	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> を x <sub>3</sub> (目的 / 行動)の
確率 0-1)で期待する / 希望	ために要する; x <sub>2</sub> が x <sub>1</sub> には必
する / 願う; x <sub>2</sub> は望まれている	要

x1 は x2 を x3 (法/慣習)のも  $x_{I}$  (事 / 性質)は  $x_{2}$  (時間 / 期 間)にわたって継続する / 続く と所有する

renro	renvi
senva	serti
sidju	speni
stapa	tcana
tcima	tunta
vorme	jimpe

間)にわたって耐え抜く/辛抱 x1 は x2 を x3 (方向)に投げる する / 我慢する; x1 は長持ち する x1 は x2 (構造)・x3 (段数)の x1 は x2 (事)を夢見る; x2 は夢 階段 想 / 幻想 x, は x, と結婚している / の配 x1 は x2 (者)を x3 (行動 / 事) 偶者、x3 (法律 / 規則 / 慣習) に関して助ける のもと x1 は x2 (交通 / コミュニケー  $x_1$  は  $x_2$  を  $x_3$  で踏む ション / 配給のネットワーク)の 駅 / 局 / ノード x1 (物)は x2 を刺す / 突く / x1 は x2 (所 / 地域)の気象 / 突き刺す / つつく; x2 は x1 に 気候 / 天候 / 天気 刺される *x*<sub>1</sub> は *x*<sub>2</sub> (命題)を *x*<sub>3</sub> (題目)に  $x_1$  は  $x_2 \cdot x_3$  間の、 $x_4$  (構造 ついて理解する; x1 は x3 がわ 体)の扉 / 戸口 / 出入口 / 門 戸 / ドア かる

x1 は x2 (事)を x3 (時間 / 期

masno	sutra
frili	nandu
condi	caxno
bruna	mensi
preti	danfu
snura	ckape

x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (動作 / 事)に関して 速い / すばやい / 敏速 / 俊 敏	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (事)に関して速度的に 遅い / のろい / もたもたする
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> にとって、x <sub>3</sub> (条件)の もと難しい / 難関	x <sub>I</sub> (事)は x <sub>2</sub> (者)にとって x <sub>3</sub> (条件)において簡単 / 容易; x <sub>2</sub> は x <sub>I</sub> をた易くこなす
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (方向 / 性質)に関して x <sub>3</sub> (照合枠)・x <sub>4</sub> (基準)で浅い / 浅はか / 薄い	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (性質 / 方向)に関して x <sub>3</sub> (照合枠)・x <sub>4</sub> (標準)におい て深い
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> と、x <sub>3</sub> (血縁)によって 姉妹関係にある; x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> の姉 / 妹	x <sub>I</sub> は x <sub>2</sub> の、x <sub>3</sub> (血縁関係)によ る兄 / 弟

 $x_1$  は  $x_2$  (質問 / 問題)に対する解答 / 回答 / 返答  $x_1$  (文字列)は  $x_2$  (題目)に関する、 $x_3$  (者)から  $x_4$  (者)への質問 / 質疑

 $x_1$  は  $x_2$  にとって  $x_3$  (条件)に  $x_1$  は  $x_2$  (事 / 危険)にたいしておいて危険;  $x_1$  はおっかない 安全

macnu	zmiku
jinru	fulta
zifre	bilga
rarna	rutni
sirji	korcu
bakni	banfi

x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (機能)に関して x <sub>3</sub> (条	x <sub>I</sub> (事)は x <sub>2</sub> (機能)に関して手
件)で自動	動 / マニュアル
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (気体 / 液体)に浮か	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> に漬かる / 浸かる /
ぶ; x <sub>1</sub> は浮遊物	沈む / 潜る
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (行為)を x <sub>3</sub> (協定 / 契約 / 常識)のために遂行す る義務を負っている; x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> をしなければならない	x <sub>1</sub> は自由である、x <sub>2</sub> (事 / 状態)になることにおいて、x <sub>3</sub> という条件で
$x_I$ は人工物; $x_I$ は人為的	x <sub>1</sub> は自然 / 天然 / 本能的 / 自発的
x <sub>1</sub> は曲がっている / 歪んでい	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> ・x <sub>3</sub> の間でまっすぐ /
る / ねじれている	直線的 / 直接的
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (種類)の両生綱 / 両 生類動物	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (種類)のウシ属動物

cinki	cipni
curnu	gerku
mabru	mlatu
respa	birje
ckafi	jikru
jisra	ladru

x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (種類)のトリ綱(ダチョウ / キジ / カモ / カッコウ / オウム / ツバメ / フクロウ / ハト / ツル / コウノトリ / ペリカン / フラミンゴ / ペンギン…目)	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (種類)の昆虫綱(甲虫 / チョウ / ハエ / ハチ / カメム シ / バッタ / トンボ…目)
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (種類)のイヌ科動物 (オオカミ / イエイヌ / コヨーテ / ジャッカル / リカオン / タヌ キ / キツネ等)	x <sub>I</sub> は x <sub>2</sub> (種類)の無脊椎動物 (ミミズ / クラゲ / イカ等)
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (種類)のネコ科動物 (チーター / イエネコ / ヤマネ コ / ヒョウ / ピューマ等)	x <sub>I</sub> は x <sub>2</sub> (種類)の哺乳綱動物
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (起源)の発泡酒 / ビール / エール	x <sub>I</sub> は x <sub>2</sub> (種類)の爬虫綱 / 爬 虫類(カメ / トカゲ / ヘビ / ワ ニ)
x <sub>I</sub> は x <sub>2</sub> (原料)の蒸留から出 来た酒 / アルコール飲料	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (種類)のコーヒー
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (起源)のミルク / 牛 乳; x <sub>1</sub> は乳性 / 酪農の	x <sub>I</sub> は x <sub>2</sub> (原料 / 種類)の汁 / ジュース

tcati	vanju
sance	savru
voksa	birti
krici	morji
senpi	smadi
bende	cecmu

x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (果物成分)のワイン /	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (葉 / 原料)の茶 / 紅
葡萄酒	茶 / 緑茶
x1 は x2 (者)・x3 (知覚体系)	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> が発する音; x <sub>2</sub> は音
にたいする騒音 / ノイズ	がする
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (命題)が真であると確 信している	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (本体)の声
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (命題)を x <sub>3</sub> (題目)に	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (命題)を x <sub>3</sub> (題目)に
ついて思い出す / 回想する	ついて信じる
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (命題)を、x <sub>3</sub> (題目)に	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (命題)の真実性を疑
ついて推測する	う; x <sub>2</sub> は信憑性に欠ける
x <sub>I</sub> は x <sub>2</sub> (有機体)の共同体 / 社会 / コミュニティ / 群落 / 集団営巣地 / 植民地	$x_1$ は $x_2$ (者達)・ $x_3$ (引率者) からなる、 $x_4$ (目的)のための仲 間 / チーム / 乗組員 / バンド / 班

klesi	ckini
srana	jitro
minde	sazri
tinbe	bunre
narju	zirpu
simlu	simsa

質)の部門 / カテゴリー / クラ て繋がりがある / 同系 ス/組/派/種類/タイプ x1 は x2 に関連する / 関係が x1 は x2 を x3 (動作 / 事)に関 して制御 / 指揮 / 引率する ある x1 は x2 (者)に x3 (事)が起こ *x*<sub>1</sub> は *x*<sub>2</sub> を *x*<sub>3</sub> (目的)のために るよう / を行うよう命令 / 指令 操作する / 指図する x1 は x2 (命令 / 規則)に服従 x1 は茶色 / 黄褐色 / 小麦色 する / 従う; x1 は従順 x1 は紫色 / パープル x1 は橙色 / オレンジ色  $x_1$  は  $x_2$  (性質)であるよう  $x_3$ x1 は x2 に、x3 (性質)の点で (者)に x<sub>4</sub> (状態条件)の下で見 似ている / 相似的; x1 は x2 の 受けられる; x1 は x2 らしい気 よう がススにする

x1 は x2 と x3 (関係性)によつ

x1 は x2 (上位の枠組)・x3 (特

simxu	jenmi
pulji	sonci
ckana	kicne
matci	cinba
gletu	broda
brode	brodi

x <sub>1</sub> (群)は x <sub>2</sub> (群 / 共同体)に	$x_{I}$ (集合)は $x_{2}$ (事 / 性質)の
奉仕する、x <sub>3</sub> (機動特性)の軍	点で相互的 / 共通し合ってい
隊	る
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (隊)の戦士 / 兵士 /	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (法 / 治安)を守る警
闘士	察(官)
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> のための、x <sub>3</sub> (素材)	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (素材)の、x <sub>3</sub> (者 / 物
のクッション / 座布団; x <sub>1</sub> は	/ 事)を支えるための寝台 /
x <sub>2</sub> を x <sub>3</sub> で緩衝する	ベッド
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (対象本体)・x <sub>3</sub> (対象 箇所)にキス / 接吻 / くちづけ する	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (素材)の敷物 / マット / むしろ / ござ / たたみ
代ブリディその1[x <sub>I</sub> を始めとす	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> と性交 / 交尾 / セッ
るPS全体が文脈次第]	クスする
代ブリディその3[x <sub>I</sub> を始めとす	代ブリディその2[x <sub>1</sub> を始めとす
るPS全体が文脈次第]	るPS全体が文脈次第]

ŀ

brodo	brodu
creka	cutci
dakli	daski
gluta	kosta
mapku	palku
pastu	skaci

代ブリディその5[x1を始めとす 代ブリディその4[x1を始めとす るPS全体が文脈次第] るPS全体が文脈次第] x1 は x2 (足 / ひづめ)を覆う / x1 は x2 (素材)の上着 / トップ 守るための x3 (素材)の靴  $x_1$  は  $x_2$  (物)のためのポケット x1 は x2 (内容)・x3 (素材)の 鞄 / バッグ / リュックサック / ポーチ / 小物入れ x1 は x2 (素材)のコート / ジャ x1 は手袋 / グローブ / ミトン ケット / マント x1 は x2 (素材)の帽子 / 冠 / x1 は x2 (素材)のズボン / ス ラックス / パンツ(女性用) 兜 / ヘルメット x1 は x2 (素材)のスカート / キ x1 は x2 (素材)のローブ / チュ ニック / ガウン / ドレス ルト

smoka	taxfu
bancu	bapli
canko	catra
cedra	cifnu
cinmo	cipra
ckire	clite

x1 は x2 (身体部分 / 性別 / x1 は x2 (素材)の靴下 / ストツ 種族)・x3(目的/機能)の衣 キング / タイツ 服/服飾 x1 は x2 (境界 / 限度)を x3 x1 (性質 / 力)は x2 (事)を引き (照合点)について x<sub>4</sub> (性質 / 起こす / もたらす 数量)だけ越している / 超えて いる x1 は x2 を x3 (動作 / 方法)で x1 は x2 (壁 / 建物 / 構造)の 窓/門/入口/出口/玄関 殺す x1 は x2 (事 / 物 / 性質 / 間 x1 は x2 (生物種)の幼児 / 赤 隔)を特徴とする時代 / 時期 / ちゃん 年代 x1 (過程 / 事)は x2 (性質)を x1 は x2 (感情)を x3 について 覚える; x1 は感情的 / ムードに x3 について確かめる試験 / 実 験 / テスト 浸っている x1 (者)は x2 (者)に x3 (事 / 性  $x_1$  は  $x_2$  (事)に際し、 $x_3$  (照合 質)を感謝する; x2 が x3 をした 枠)において礼儀正しい / 行儀 ことについて x1 はありがたく思 が良い う; x3 であることはありがたい

ctino	cumki
cupra	dicra
fadni	fange
fanza	fendi
fengu	funca
gacri	galxe

x <sub>I</sub> (事)は x <sub>2</sub> (条件)においてありえる / 可能; x <sub>I</sub> は可能性	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (物)・x <sub>3</sub> (光)の陰 / 影
x <sub>1</sub> (事)は x <sub>2</sub> (物 / 事)を x <sub>3</sub> (妨 害性質)によって阻止 / 中断 / 妨害する	x <sub>I</sub> は x <sub>2</sub> (物)を x <sub>3</sub> (過程)によっ て生産 / 産出 / 製造する
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> にたいして x <sub>3</sub> (性質) の点で異質 / 外来 / 別世界 的 / 風変わり	x <sub>I</sub> は x <sub>2</sub> (性質)・x <sub>3</sub> (集合)にお いて平凡 / 通常 / 普通
x <sub>1</sub> (者)は x <sub>2</sub> を x <sub>3</sub> (部分 / 個) に x <sub>4</sub> (方法 / 区分)によって分 ける	x <sub>I</sub> (事)は x <sub>2</sub> の気に障る / をい らいらさせる; x <sub>2</sub> は x <sub>I</sub> で苛つ く; x <sub>I</sub> は邪魔
x <sub>1</sub> (事 / 性質)は x <sub>2</sub> の運; x <sub>1</sub> はまぐれ / めぐり合わせ	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (者)にたいして x <sub>3</sub> (事 / 性質)について憤慨している / 怒っている
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (本体)の喉 / 咽喉 / 食道	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> の覆い / 蓋 / カバー; x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> に被さっている

gusni	jinga
jipno	jivna
judri	jukpa
kacma	kagni
karni	kevna
klani	lafti

$x_1$ は $x_2$ (利益)を $x_3$ (競合相手 / 敗者)から $x_4$ (試合)において勝ち取る; $x_1$ は $x_3$ に勝利する; $x_3$ は $x_1$ に敗北する	x <sub>1</sub> (エネルギー)は x <sub>2</sub> (対象)を x <sub>3</sub> (光源)に基づいて照らす; x <sub>3</sub> は x <sub>2</sub> を x <sub>1</sub> で照らす
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> と x <sub>3</sub> (事)に関して x <sub>4</sub> (利益)を競う / 競合する / 試 合する	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (本体)の先端 / 先っ ぽ
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (完成品)に x <sub>3</sub> (方法)	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> の、x <sub>3</sub> (体系)における
で料理する	住所 / 宛先
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (権限)・x <sub>3</sub> (目的)の	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (光学的対象)を x <sub>3</sub> (媒
会社 / 企業	体)に記録するカメラ
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> の穴; x <sub>2</sub> は x <sub>1</sub> (箇所) において貫通している	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (内容)・ x <sub>3</sub> (出版者)・ x <sub>4</sub> (読者)の刊行物 / 雑誌 / 新聞
x <sub>1</sub> (力)は x <sub>2</sub> (対象本体)・x <sub>3</sub>	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (数)を測定値として x <sub>3</sub>
(対象箇所)を x <sub>4</sub> (重力)に対し	(尺度 / 概念)について測定さ
て持ち上げる / 拾う / すくう	れた量

larcu	lazni
lerfu	lidne
lifri	livla
manci	midju
mintu	mipri
munje	nabmi

x <sub>1</sub> (者)は x <sub>2</sub> (動作 / 仕事 / 努力 / 事)に関して怠惰 / 怠ける; x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> を怠る	x <sub>1</sub> (創作物 / 創作過程)は x <sub>2</sub> (芸術様式 / 芸術流派)の実践 / 応用; x <sub>1</sub> は芸術的
$x_1$ は $x_2$ を、 $x_3$ (序列)において 先行する / 先立つ / 率先す る; $x_2$ は $x_1$ に続く; $x_1$ は前者; $x_2$ は後者	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (文字体系)において x <sub>3</sub> を表す字(文字 / 数字)
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> のための燃料	$x_{I}$ (者 $/$ 事)は $x_{2}$ (事)を経験する; $x_{2}$ に $x_{I}$ は見舞われる; $x_{2}$ は経験的 $/$ 実験上 $/$ 実証可能
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> の中央 / 中心 / 中枢 / 真ん中	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> に畏敬の念を感じる / 驚嘆する; x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> を摩訶不思 議に思う
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> を x <sub>3</sub> から、x <sub>4</sub> (方法) によって匿う / 隠す / 秘密に する	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> と、x <sub>3</sub> (基準)において 同種
$x_I$ (事)は $x_2$ が遭遇した、 $x_3$ (状況 / 課業)における問題; $x_I$ は $x_2$ に熟考を要する	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (領域 / 分野)・x <sub>3</sub> (法 則・原理)の世界

pemci	pinsi
platu	plipe
ralju	rapli
rectu	sanga
sarcu	sinma
skami	skicu

x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (素材)の鉛筆 / クレヨ ン	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (特徴)・x <sub>3</sub> (作者)・x <sub>4</sub> (読者)の詩
x <sub>1</sub> (者 / 物)は x <sub>2</sub> (終点)に x <sub>3</sub> (起点)から x <sub>4</sub> (高さ)ほど x <sub>5</sub> (動力)によって跳躍 / ジャンプ する	x <sub>1</sub> (者)は x <sub>2</sub> (物 / 事)を x <sub>3</sub> (事)のために計画 / 設計 / デ ザインする / 企てる
x <sub>I</sub> (動作)は x <sub>2</sub> (回数)にわたっ て繰り返す / 循環 / 反復する	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (集合)・x <sub>3</sub> (性質)にお いて主要 / 大本
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (音楽)を x <sub>3</sub> (聴衆)に 歌う / 詠唱する	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (生体)の肉
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> を尊重·尊敬する; x <sub>2</sub> は尊い	x <sub>I</sub> (抽象)は x <sub>2</sub> (状態 / 過程) のために x <sub>3</sub> (条件)のもと必須 / 欠かせない
x <sub>1</sub> (者)は x <sub>2</sub> (物 / 事 / 状態) を x <sub>3</sub> (者)に x <sub>4</sub> (表現 / 文字 列)によって描写 / 叙述する	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (目的 / 機能)のコン ピュータ

ļ

sovda	spofu
sruri	tatpi
tcena	tcita
vacri	vajni
vasxu	vimcu
vindu	xabju

x1 は x2 (機能)に関して故障している / 使用不可能	x <sub>I</sub> は x <sub>2</sub> (生体)の卵 / 卵子 / 花粉 / 配偶子
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (事)によって疲労 / 疲 弊している / 疲れている	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> を x <sub>3</sub> (方向 / 次元 / 面)に関して包囲する / 取り囲 む
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> の x <sub>3</sub> (情報)を表す札 / タグ	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (範囲)にわたり x <sub>3</sub> (次 元)において x <sub>4</sub> (通常の範囲) から伸びる / 拡張する
x <sub>1</sub> (物 / 事)は x <sub>2</sub> (人 / 事)に とって、x <sub>3</sub> (性質 / 理由)に関 して重要 / 大事	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (領域 / 惑星)・x <sub>3</sub> (成 分)の空気 / 大気
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> を x <sub>3</sub> から、x <sub>4</sub> だけ残 して除去 / 控除する / 差し引 く	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (気体)を吸う / 吐く
x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> (所)に住む / 暮らす / 棲息 / 生息する	x <sub>1</sub> は x <sub>2</sub> にとって毒 / 中毒性 がある

!



